

(様式2)

平成 30 年度

つる棟自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590300263		
法人名	上越老人福祉協会		
事業所名	グループホーム百寿の家		
所在地	新潟県上越市下荒浜843		
自己評価作成日	平成30年11月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.nhi.w.go.jp/15/index.php?act=on_kouhyou_detai_1_2018_022_kani=true&ji_gyosyoCd=1590300263-00&PrEfCd=15&Ver=onCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	平成30年12月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム百寿の家は、平成23年12月10日、日本海にほど近い下荒浜地区に開設された。近くには、内科や調剤薬局、小学校、中学校、神社が隣接していて、比較的静かな環境の中で過ごすことができる。「安心して自分らしく生活できるよう支援します」「地域の方々とのふれあい、ともに笑顔で暮らせることを目指します」を理念に掲げ、ご利用者が笑顔で過ごせるよう意識して取り組み、調理作業や掃除等、役割を持って過ごして頂いている。

地域行事が盛りだくさんの地区であり、小中学校や地域の運動会の見学や参加、春秋の地域の神社の祭りや、近くの海岸での海祭り、文化展への参加等、可能な範囲で、利用者に地域に出向く機会を持ってもらっている。地域の方には、事業所の理解にも繋げて頂いていると実感している。地元採用の職員もおり、行事等の情報収集がしやすい。近隣の方には、日常的に、畑の作物等の差し入れを頂く等の交流がある。職員からの発案で、数名ではあったが、日頃お世話になっている地域の方に会食会に参加して頂くことができ、継続していきたいと考えている。

運営推進会議では、事業報告をすることで、地域の代表の皆さんに、事業所の実態を知って頂く機会となっている。中学生の職場体験学習や保育園児の訪問等の異世代交流の機会や、各地で活躍中のボランティアさんにおいて頂き、歌やマジックショーを披露して頂く機会を設け、楽しみの機会として頂いている。

防災訓練として、中学校主催の水害訓練に参加し、高齢者の実情を伝えたり、施設内火災訓練を年2回実施し、可能な範囲で地域の方にも参加見学して頂くよう計画し、有事の際に備えている。

利用者の体調不調発生時には、早い段階で家族と相談し、早めの対応を心掛けている。必要に応じて隣接の内科医院や調剤薬局に相談させてもらっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ゆったりとした住み心地の良い環境
事業所は国道8号線に近い閑静な住宅街に開所され8年目を迎えた。小、中学校や医療機関等も近く、生活の利便性の高い位置に立地している。事業所内は適温が守られ、利用者が集い和やかに過ごせるソファの備えもあり、馴染んできた暮らしが回想される、ほのぼのとした雰囲気に含まれながら、職員と共に語り合いながらゆったりと大らかに過ごすことが出来ている。

○深まる地域との関係性と家族の協力も心強いチームワークの良さ
事業所は利用者が地域の中で安心して、自分らしく暮らしていけるのを目指し、家族や地域の協力を得ながら、普段の交流が積極的に行われている。事業所の行事の折には数名の方から来所していただくことをはじめ、地域住民との交流の輪も広がってきている。また、家族の理解と協力の下、外出や外泊も行われ、利用者の励みとなっている。加えて管理者、職員の関係性も良く、会議の場のみならず、日ごろから何でも話し合える雰囲気の良さが感じられる。事業所の年間目標に向かって、利用者が力を発揮出来る機会を見守り支えながら、共に生活が出来ることが事業所運営に活かされていると感じられた。

○関係機関との共同姿勢
関係機関との連携についても、運営推進会議のメンバーに地域包括支援センター職員が参加され、市とのパイプ役となってもらえる協力体制が築かれており、気軽に日々の相談事を行われている。特に運営推進会議は何でも相談できる良い機会となっており、情報交換に努めるとともに協働の姿勢を高めている。